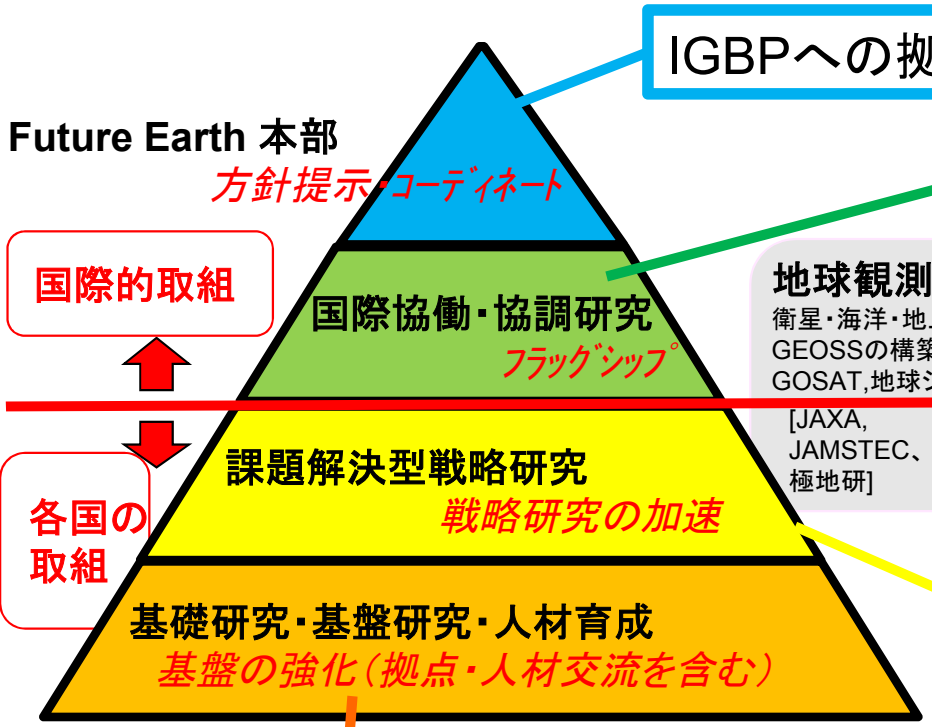
資料9-2

文科省におけるフューチャー・アースの参考となる事業（例）



Belmont Forum
メンバー国・機関がテーマ（海岸の脆弱性、水の安全保障、e-infrastructure、食糧安保等）を設定し、3か国以上のマルチ国際共同研究（3－5年）やフィージビリティ・スタディ等（1－2年）を共同公募・協調ファンディング

SATREPS[JST]（環境・エネルギー、防災、感染症、生物資源）ODAと連携し、地球規模課題解決のために日本と開発途上国の研究者が3-5年間の共同研究を推進

J-GRID（感染症分野）
アジア・アフリカの8か国13か所に展開する海外拠点を活用して、感染症対策に資する研究開発の推進を集中的・継続的に実施し、基礎的知見の更なる集積・人材育成等を推進。

地球観測・分析
衛星・海洋・地上観測、GEOSSの構築,ALOS,しずく,GOSAT,地球シミュレータ
[JAXA, JAMSTEC、極地研]

DIASプロジェクト 地球観測データ、気候変動予測データ、社会経済データ等を統合・解析する為のシステム高度化・拡張と利用促進

GRENE
大学等が連携し、研究目標や研究リソースを共有しながら研究と人材育成を総合的に推進（北極気候変動、環境情報（DIAS活用）など4分野）

RECCA
地球レベルの気候変動予測を都道府県等の地域レベルの適応策立案に活用するための技術開発（DIASを活用）

RISTEX[JST]（地域に根差した脱温暖化・環境共生社会領域）人文社会科学と自然科学が融合し、ステークホルダーとも連携して、技術（システム）手法の開発・実証や政策提言を推進

新技術シーズ創出[JST]
（グリーンイノベーション領域等で、海洋生物多様性、生態系保全・再生CO2排出抑制、ビック・データ、持続可能な水利用などを含むテーマ）、イノベーション創出のための基礎研究を推進

気候変動リスク情報創生プログラム
世界を牽引する気候変動予測研究 ＆ 気候変動リスク管理に資する基盤的情報の創出にむけた技術開発

中核機関による研究活動（運営費交付金等）[JAXA,、JAMSTEC、極地研、地球研]

環境リーダー
（17大学）途上国における環境問題の解決に向けたリーダーシップを発揮する人材の育成拠点

グローバルCOEプログラム
（“生命科学”や“地球科学”、“学際・複合・新領域”の分野拠点を含む）国際的に卓越した教育研究拠点の形成支援

WPI
世界トップレベル研究拠点プログラム
（地球・生命の起源、環境エネルギー、食糧・バイオマスの研究拠点を含む）

地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業
産学官が一つ屋根の下で、革新的課題の研究開発に取り組む拠点施設を整備（地球規模の課題の解決に資する研究を行う拠点を含む）

頭脳循環[JSPS]
日本の若手研究者を海外に派遣し、派遣先の研究機関との間で行う国際共同研究に携わらせる、研究機関を支援（学際・複合領域系等で、“海洋生態系モデリング”や“生物多様性保全”等の採択を含む）

科研費
[人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたるあらゆる学術研究（研究者の自由な発想に基づく研究）を支援
（環境学分野を含む）

博士課程教育リーディングプログラム 広く産学官にわたり活躍するグローバルリーダーを養成する「リーディング大学院」の構築を支援 （“環境”領域：6件）